



岩五だより



江戸川区立小岩第五中学校
令和7年度 学校だより
～ 6月号 ～
令和7年 6月10日発行

初夏の候、芒種の6月です 校長 前本 大智

6月梅雨入りを前に、緑の香りが深まる今日このごろ、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。日頃より本校の教育活動にご支援・ご協力をいただきましてありがとうございます。

さて、先月の24日、「全力疾走」をスローガンとして行いました本校運動会に、多くの保護者の皆様、地域関係者の皆様にご参観いただきましたこと、心より感謝申し上げます。また、安全と安心を第一に掲げた今回の運動会におきましては、事前の申請や警備ボランティア、受付など多数お手伝いいただきましたことも重ねて御礼申し上げます。

暑さ対策の点では、昨年度よりも種目を精選し午前中に全競技が収まるよう計画しました。当日は、暑くもなく雨も降らずの非常に運動会としては、この上ないお天気でした。

実際行ってみると、生徒たちはそれぞれの出番に集中し、それぞれの役割を理解し、最後まで諦めない姿勢で運動会のスローガン通りに、自分たちの“全力疾走”を表現できたと感じました。もう、すでに決着がつきかけている状況でも、最終ランナーは自分のもてる力を最大限発揮し、ゴールで会場全体が大きく拍手をして称え合う姿に、大変盛り上がりました。

そして、6月1日は、本校開校記念日でした。68年前に小岩地区の5番目の学校として、生徒数増により手狭になった小岩第二中学校から分かれる形で創立されました。そこから、歴史を重ねてきた本校であることを、再認識するとともに、これからも確実に日常の学校活動を紡いでいかなければならないと改めて思いました。

6月は、「水無月（みなづき）」であり、二十四節気では、「芒種（ぼうしゅ）」になります。水の月として、水田に水をはり、田植えを行う季節です。豊かに実る稲穂を願い、種を蒔く時期を意味します。今回の運動会での、生徒の皆さんが演技や競技に全力疾走し、係の仕事、競技役員の仕事に手を抜かず、また一生懸命応援できたことは、小岩第五中学校に実りある種を蒔けたと感じます。非常によいタイミングで種を蒔けました。あとは、これを上手にお世話しながら大切に育て、様々な風雨（困難なこと、苦しいこと等）に耐えて、小岩第五中学校として大豊作となるよう、あたりまえのことを大切にして、みんなで一緒に学校生活を高めていきましょう。収穫の日を、一緒に目指しましょう。



庭の紫陽花(八丈千鳥)より兼五園を望む